



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和7年 1月 8日

第 20 号

新しい年の始まりです 今年もよろしくお祈いします

2025 年、令和 7 年の新しい年が始まりました。明けましておめでとうございます。

私事ですが、毎年元旦には、少しでも早起きをして日の出ごろに春日大社での初詣が恒例と

なっています。おみくじも引いてきましたが残念ながら凶でした。新年早々、残念な神様



のお告げのようで、少しがっかりしました。おみくじに添えられた短歌をよくよく読んでみると、「なまけて磨くことを怠ったならば、立派な光を持つ宝石であっても、石ころと同じで、なんの役にも立たなくなります」という意味のようでした。自分自身が持

っているかもしれない可能性や才能は自分自身の力で輝くように磨きなさいということなのでしょう。要するに、なまけるなということでした。いい年になりますように、という言い方をすることも多い年始の挨拶ですが、良い年になるかどうかは自分自身であり、自分の努力次第だと言われているようで、はっとさせられました。

今年は巳年にあたります。よく使われる表現ですが、脱皮しながら成長するへびになぞらえ、鹿ノ台小学校の子どもたちが賢く心優しく成長していきますようにと願いながら、今年も教職員一丸となって教育活動に励んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



3 学期 始業式

7日の始業式では、おみくじの話とともに、谷川俊太郎さんの「今年」という詩の一部を紹介しました。谷川俊太郎さんは、「ことばあそび歌」、「生きる」、「朝のリレー」など数多くの詩が教科書に掲載されている詩人で、昨年11月に92歳で亡くなりました。2年生で学習する「スイミー」の翻訳者としても知られています。

子どもたちに紹介したのは「今年」という詩の中盤に出てくる

「決心はにぶるだろう今年も / しかし去年とちがうだろう / ほんのすこし / 今年は」

という部分でした。

こんなことを頑張るぞ、こんなことをしたいと気持ちを新たに、目標を立てたり、決意したりする機会も多い年の始め。自分をしっかり磨いていくためにも決意や目標を決めることは大切です。

けれど、せっかくの決心もにぶってしまって、なまけてしまったり、挫折してしまったりすることも

あるかもしれません。それでも、去年とはほんの少しかもしれないけれど違

うんだ、今年は——。谷川さんはそう言って自分の気持ちを振り立たせてい

るように思います。そんな気持ちを胸に抱え、今年一年、努力していきましょ

うと話をしました。



地域の方から

毎日、登下校の時間帯に多くの方が通学路上に立ち、子どもたちの安全を見守ってくださっています。その見守りボランティアの方から昨年末にたいへんうれしいメールをいただきました。

12月23日の終業式の下校立哨時に正門にいつものように立っていましたら、5,6年生くらいの女の子が横断歩道手前で立ち止まり頭を下げ「おじさん今年も有難う」と言ってくれました。嬉しかったです！また元気を頂きました。この話を別の方に話したら、その方も同じ日の朝の立哨時に南地区で同じようなことがあり喜んでいました。日頃学校であいさつ等をご指導されている成果だと思います。

「おはよう(あいさつ)」「だいじょうぶ」「ありがとう」は、子どもたちに大切にしてほしい言葉です。毎朝、登校後、朝休みの時間に運動場へ駆け出す子どもたちに、「行ってらっしゃい」と声をかけていますが、最近では子どもたちの方から「行ってきます」と声をかけてくれることが増えてきました。遠くから「おはようございます」と声をかけてくる子や私が振り返るのを待ってあいさつをしてくれる子がいます。深々とお辞儀をする子もいます。

地域の方に見守られ、家族の支えの中で、子どもたちは人と繋がり心豊かに成長していきます。皆様のおかげです。日頃からの見守り活動や上記のようなメール文を含めた学校や子どもたちへのお声かけが、子どもたちや私たちの励みにもなります。ありがとうございました。これからも引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

今年

谷川 俊太郎

涙があるだろう

今年も

涙ながらの歌があるだろう

固めたこぶしがあるだろう

大笑いがあるだろう今年も

あくびをするだろう

今年も

短い旅に出るだろう

そして帰ってくるだろう

農夫は野に

数学者は書齋に

眠れぬ夜があるだろう

だが愛するだろう

今年も

自分より小さなものを

自分を超えて大きなものを

くだらぬことに喜ぶだろう

今年も

ささやかな幸せがあり

それは大きな不幸を

忘れさせることはできぬだろう

けれども娘は背が伸びるだろう

そして樹も

御飯のおいしい日があるだろう

新しい靴を一足買うだろう

決心はにぶるだろう今年も

しかし去年とちがうだろう

ほんのすこし

今年も

地平は遠く果てしないだろう

宇宙へと大きなロケットはのぼり

子等はかけてゆくだろう

今年も歓びがあるだろう

生きてゆくかぎり

いなむことのできぬ希望が